



2026年7月7日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 京 進
(コード番号 4735 東証スタンダード)
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 立 木 康 之
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 本 部 長 兼 財 務 部 長 松 原 博 之
電 話 (075)365-1500

(開示事項の経過)

DX 戦略推進プラットフォーム「Kyoshin Digital Academy」の開設に関するお知らせ

株式会社京進は、グループ全体の DX 戦略推進およびデジタル人材育成のプラットフォームとなる「Kyoshin Digital Academy(以下、KDA)」を立ち上げ、KDA が推進する DX ビジョンおよび具体的な戦略・取り組みを専用ウェブサイトにて一般公開することをお知らせいたします。

当社は現在、進行中の全社戦略の中核のひとつとして「人にしかできない付加価値業務へリソースを集中させる環境づくり」の実行スピードを加速させています。こうしたデジタル戦略の全体像と実装プロセスを、ステークホルダーの皆様へ透明性高く開示することを目的に、特設サイトを公開いたしました。本年 4 月に公表した、AI 開発プラットフォーム「Dify」の開発元 LangGenius 社との協業(<https://group.kyoshin.co.jp/news/741353/>)も、この KDA を通じた取り組みの一環です。

【Kyoshin Digital Academy サイトを見る】⇒ <https://kysn.jp/kyoshin IR 26070701>

■KDA(Kyoshin Digital Academy)設立の目的と推進体制

KDA は、従来の組織の壁(部署の壁)を取り払い、経営情報企画部、DA 推進課をはじめグループ内の多様なデジタル人材を結集した「バーチャル組織」です。今後は組織の枠組みを超え、様々な DX 推進のための「プラットフォーム」として機能し、以下を推進します。

- ・ 中長期的なデジタル人材の育成・確保、ならびに組織全体のデジタルリテラシー向上
- ・ 失敗を学びに変える「挑戦する文化(絶えざる革新)」の醸成
- ・ デジタルブランディングを通じて、持続可能な企業価値の向上と強固なガバナンス体制を確立

■京進 DX 戦略の三つの柱

当社の DX は単なるシステム導入(局所的な IT 化)ではなく、ビジネスモデルおよび企業文化を根本から変革し、顧客への価値提供を最大化するための経営戦略です。教育・保育・介護サービスにおいて、IT や AI が定型業務を代替することで創出されたリソースを、生徒や利用者様との「対話」や「個別のケア」へと集中させ、より人間らしい温かみのある高付加価値サービスの提供を目指します。

①一生を支援する事業展開を支える強固なデータ・システム基盤の確立

グループ各所に散在していたデータを統合し、顧客の一生をシームレスに支援できる強固なデジタル基盤を確立。システムを刷新し、ゼロトラスト環境などの最新クラウドセキュリティを実装します。

②事業部門の業務変革(「人にしかできないこと」への集中環境創出)

教育分野:IT・AI を活用した「個別最適化学習」やハイブリッド型教育モデルの展開を推進します。

保育・介護分野:業務プロセスのデジタル化(記録・報告業務の効率化)、IoT/AI を活用した見守りや安全管理によるケア品質と安全性の向上を図ります。

③デジタル人材の育成と風土改革

組織を超えたプラットフォームとして、デジタル人材の育成と組織全体のデジタルリテラシー向上を体系的に推進。失敗を学びに変える「挑戦する文化」を醸成し、持続可能な企業価値向上と強固なガバナンスを確立します。

■今後の見通し

本件による当連結会計年度の業績に与える影響は軽微であります。中期的な業務効率化、データ活用による顧客生涯価値(LTV)の最大化、およびグループシナジーの創出を通じて、中長期的には当社の収益性向上および持続的な企業価値向上に寄与するものと考えております。今後、開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。



■Kyoshin Digital Academy <https://kysn.jp/kyoshin IR 26070701>

〈掲載予定コンテンツ〉

●社内共創:

・教務部×経営情報企画部(「京進 Study」開発・運用インタビュー)

⇒<https://kysn.jp/kyoshin IR 26070702>

・DA 推進課×経営情報企画部(データ分析推進インタビュー) ※近日公開予定

●社外パートナー共創:

・株式会社 POPER(学習塾業務管理システム「Comiru」提供元)との対談

⇒<https://kysn.jp/kyoshin IR 26070703>

・株式会社 LangGenius(AI 開発プラットフォーム「Dify」開発元)との対談

⇒<https://kysn.jp/kyoshin IR 26070704>

・株式会社キテレッツ(ウェブサイト制作)との対談 ※近日公開予定

株式会社京進について (<https://kysn.jp/kyoshinIR>)

会社名 株式会社京進(Kyoshin Co., Ltd.)東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード:4735)

設立 1981年4月(創業:1975年)

代表者 代表取締役社長 立木 康之

本社 京都府京都市下京区烏丸通五条下る大坂町 382-1

事業内容 学習塾、保育、英会話、日本語教育、介護、キャリア支援

学習塾「TOPΣ(トッピングマ)」「スクール・ワン」のほか、英会話「ユニバーサルキャンパス」、保育園「HOPPA」、日本語教育「京進ランゲージアカデミー」、介護「ライフパートナー」など、国内外約 500 拠点で事業を展開。グループ従業員数約 7,000 名。